

『「洲本市の地域創生」に関するアンケート調査』

～ 今後のまちづくりに向けて、あなたのお考えをお聞かせください ～

平素より洲本市政に対しまして、ご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。
さて、洲本市では、人口減少社会に対応すべく新たに「洲本市人口ビジョン」と「洲本市総合戦略」を令和元年度中に策定することとしております。

今回、市民のみなさまより、まちづくりに関するお考えをお伺いし、上記策定の基礎資料とさせていただくため、市内にお住まいの18歳～65歳の方(2,000名を無作為に抽出)を対象にアンケート調査を実施させていただくことといたしました。

洲本市の人口減少対策を講ずる上で、今後の方向性を検討していくための大切なアンケート調査となりますので、ご多用のこととは存じますが、調査の趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、現在、洲本市では同時期に「洲本市の都市計画・土地利用に関する住民意識調査」も実施させていただいており、アンケートの設問によっては内容が重複するところもございますが、重要な項目につき、あわせてご回答くださいますようお願い申し上げます。

最後に、回収しましたアンケート票は、統計的に処理し、本調査の目的以外に使用することはございません。また、このアンケートは無記名のため、個人が特定されることは一切ありません。

令和元年10月

洲本市長 **竹内 通弘**

ご記入にあたってのお願い

1. 回答は、封筒のあて名のご本人様がお答えください。
2. 黒鉛筆、シャープペンシルまたはボールペンではっきりとわかるようにご記入ください。
3. 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。各設問文に（1つに○）、（あてはまるものすべてに○）などと指定してありますので、それに従ってご回答ください。
4. 設問によっては、該当する番号に○をつけた方だけにお答えいただく場合がありますので、その説明に従い、ご回答ください。なお、結婚、子育て、進学、就職など、現在のご自身とあまり関係のなさそうな設問に対しましては、可能な範囲でご回答ください。
5. 記入が済みましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れ、投函期限までにご投函ください。

投函期限：11月11日（月）まで

◎本調査への質問または不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

洲本市 企画情報部 企画課 政策調整係

〒656-8686 兵庫県洲本市本町三丁目4番10号

電話番号 0799-22-3321（代表） 内線：1514、1515

「地域創生(=地方創生)」の取り組み

「地域創生」(国では「地方創生」と表現されています。)では、少子高齢化の進展に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくために、「まち・ひと・しごと創生」に関する施策を総合的かつ計画的に取り組んでいます。

まち・ひと・しごと創生とは、次のことを一体的に推進することです。

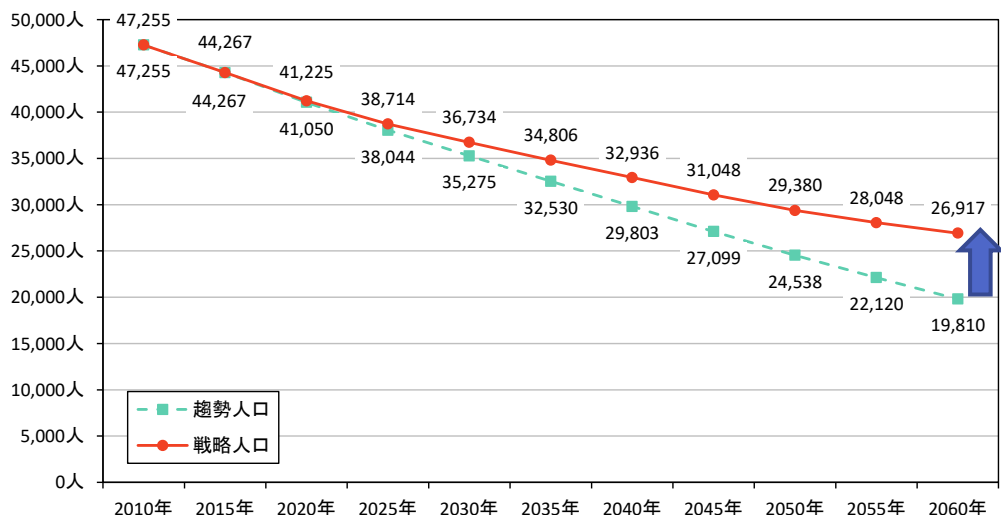
- ま ち…国民一人一人が夢や希望を持ち、潤いのある豊かな生活を安心して営める地域社会の形成
- ひ と…地域社会を担う個性豊かで多様な人材の確保
- しごと…地域における魅力ある多様な就業の機会の創出

※国の資料より

「洲本市人口ビジョン」と「洲本市総合戦略」

「洲本市人口ビジョン」と「洲本市総合戦略」とは、洲本市にお住まいのみなさんがいつまでも安心して快適に暮らしていけるよう、将来のまちの姿(人口ビジョン)を描くとともに、その実現に向けた取り組み(総合戦略)を考えていくものです。

◆本市の戦略人口 2060年の戦略人口として、26,000~27,000人規模の確保を想定します。



*戦略人口：総合戦略を想定した場合に見込まれる将来人口(ビジョン)

*趨勢人口：総合戦略を想定しない場合に見込まれる将来人口

◆4つの基本戦略

- 1 女性や若者が夢を抱いて躍動する洲本ならではの「しごと」のステージを創る
- 2 観光や暮らしの魅力を広く発信し、来訪者、移住・定住者を洲本へ呼び込む
- 3 洲本で出会い、ともに歩み、未来をつなぐ「ひと」の夢をかなえる
- 4 魅力的でやすらぎのある「わがまち洲本」を創り守る

あなたご自身についてうかがいます。

①性別（1つに○）

1. 男性	2. 女性
-------	-------

②年齢（1つに○）

1. 20歳未満	2. 20～29歳	3. 30～39歳	4. 40～49歳
5. 50～59歳	6. 60～65歳		

③職業（1つに○）

1. 会社員・公務員	2. 自営業	3. パート・アルバイト	4. 専業主婦（夫）
5. 学生	6. 無職	7. その他（	）

④居住地区（1つに○）

1. 内町	2. 外町	3. 潮	4. 物部	5. 上物部	6. 小路谷	7. 千草
8. 加茂	9. 大野	10. 由良	11. 上灘	12. 中川原	13. 安乎	14. 納
15. 鮎屋	16. 都志	17. 鮎原	18. 広石	19. 鳥飼	20. 堺	

洲本市についてうかがいます。

問1 あなたの洲本市での居住歴は次のどれですか。（1つに○）

1. 生まれてから、ずっと洲本市に住んでいる
2. 洲本市出身で、いったん市外に転出したが、現在は洲本市に住んでいる
3. 洲本市以外の出身だが、現在は洲本市に住んでいる

→【問1で「2. 洲本市出身で、いったん市外に転出したが、現在は洲本市に住んでいる」、
「3. 洲本市以外の出身だが、現在は洲本市に住んでいる」を選択した方にうかがいます。】

問1-1 洲本市に転入した理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 進学・転勤・就業のため	2. 結婚のため
3. 妊娠・出産のため	4. 子どもの学校のため
5. 親の介護のため	6. 市のサービスに魅力があるため
7. 生活環境がよいため	8. ふるさとだから
9. 田舎暮らしを楽しみたいため	10. その他（
	）

問2 洲本市は住みやすいですか。（1つに○）

1. 住みやすい	2. どちらかといえば住みやすい
3. どちらともいえない	4. どちらかといえば住みにくい
5. 住みにくい	

問3 あなたは、洲本市に暮らし続けたいですか。(1つに○)

1. これからも洲本市で暮らし続けたい
2. 市外に転居する予定がある
3. 転居の予定はないが、市外に転居したい
4. わからない

→【問3で「2. 市外に転居する予定がある」、「3. 転居の予定はないが、市外に転居したい」を選択した方にうかがいます。】

問3-1 引っ越しする理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 生活するのに不便(買物・交通など) 2. 子どもの保育・教育環境がよくないから
3. まちに活気がないから 4. 働く場所がないから
5. 仕事の関係から 6. 住宅取得が困難だから
7. 家賃が高いから 8. 一度は他のまちで暮らしたいから
9. 地域のつきあいがわずらわしいから 10. 専門学校、大学がないから
11. その他 ()

問4 洲本市の魅力はどういった点ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 公園や自然環境 2. 道路・公共交通機関
3. 職場が近い、仕事が多い 4. 防犯・防災体制
5. 教育・保育のサービス 6. 医療・福祉のサービス
7. 人柄、人情、地域との強いつながり、コミュニティのよさ 8. まちのにぎわい
9. その他 () 10. わからない・特にない

問5 あなたにとって「住みよさ」とは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自然環境に恵まれている 2. 働く場所がある
3. 居住環境がよい 4. 住宅事情がよい
5. 交通事情がよい 6. 娯楽や文化施設に恵まれている
7. 医療・福祉施設が整っている 8. 子どもの保育・教育がしやすい
9. 買物の便利がよい 10. 物価が安い
11. 静かな生活ができる 12. 人情が厚く、思いやりを持った人が多い
13. 人柄、人情、地域との強いつながり、コミュニティのよさ 14. さまざまな新しい情報が得やすい
15. 気候がよく、災害が少ない 16. 治安がよい
17. その他 ()

人口減少社会におけるまちづくりについてうかがいます。

問6 洲本市の人口は現在の約 41,831 人（2019 年 8 月）から、2040 年には約 36,192 人にまで減少すると国立社会保障・人口問題研究所の推計結果が公表されています。あなたはこの推計結果を知っていましたか。（1つに○）

- | | |
|----------|-------------|
| 1. 知っている | 2. 聞いたことはある |
| 3. 知らない | |

問7 洲本市の人口が減少していくことについて、あなたはどのようにお考えですか。（1つに○）

- | |
|------------------------------------|
| 1. 人口減少は望ましくなく、現在よりも人口を増加するようめざすべき |
| 2. 人口減少は望ましくなく、現在と同程度の人口維持をめざすべき |
| 3. 人口減少はやむを得ないが、なるべく減少に歯止めをかけるべき |
| 4. 人口減少はやむを得ない |
| 5. その他（ ） |

問8 人口減少が進行していった場合に生じる社会への影響について、次のうちからあなたが影響が大きいと考えること及び不安に感じることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 国や地方の税収減少に伴う行政サービスの低下 |
| 2. 年金の減額、社会保険料や医療費の増額など、社会保障に係る個人の負担増 |
| 3. 地域を支える担い手の不足や地域活力の低下 |
| 4. 過疎化の進行による土地の荒廃 |
| 5. 労働力人口の減少などによる地域産業の衰退 |
| 6. 人口減少による消費減などで、商店街などのにぎわいが喪失 |
| 7. 地域の伝統や文化の喪失 |
| 8. スポーツ、文化、娯楽などの余暇を楽しむ機会の減少 |
| 9. それほど影響はない |
| 10. その他（ ） |

問9 人口減少を克服し、活力ある社会をめざして、市が今後取り組むべきことについて、最も重視すべきことは何だと思えますか。（1つに○）

- | |
|--|
| 1. 産業を振興し、雇用を拡大させて、経済を活性化させる取組 |
| 2. 移住の促進や定住・Uターンなどを推進する取組 |
| 3. 子育て支援や生活と就業のバランスを充実させることにより、結婚・出産・子育ての希望をかなえる取組 |
| 4. 農山村の魅力づくりや福祉の充実など人口減少社会でも安心して暮らせる地域をめざす取組 |
| 5. 観光・歴史・文化といった地域資源の活用や人や物の交流を拡大し、地域の活性化やにぎわいを創出する取組 |
| 6. その他（ ） |

結婚についてうかがいます。

問 10 あなたは、現在、結婚していますか。(1つに○)

1. 独身 (未婚)
2. 独身 (婚姻歴あり)
3. 既婚 (事実婚を含む)

→【問 10 で「1. 独身 (未婚)」、「2. 独身 (婚姻歴あり)」を選択した方にうかがいます。】

問 10-1 現在、独身の理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 結婚したいと思える相手がいない | 2. 家族を養うほどの収入がない |
| 3. 精神的に自由でいられる | 4. 経済的に自由がきく |
| 5. 異性とうまく付き合えない | 6. 仕事 (学業) に打ち込みたい |
| 7. 結婚資金が足りない | 8. まだ若すぎる |
| 9. 出会う機会、きっかけがない | 10. 結婚に意味を見出せない |
| 11. 家族の介護、看護を行う必要がある | 12. 離婚した |
| 13. 死別した | 14. 理由は特にない |
| 15. その他 () | |

問 10-2 今後の結婚に関するあなたの希望は次のうち、どれにあてはまりますか。(1つに○)

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| 1. 今後もずっと独身でいたい | 2. 結婚の予定がある |
| 3. 結婚の予定はないが、結婚したい | 4. 年齢的に (高齢で) 結婚する予定はない |
| 5. 特に希望はない | 6. その他 () |

→【問 10 で「3. 既婚 (事実婚を含む)」を選択した方にうかがいます。】

問 10-3 結婚する前はどちらにお住まいでしたか。(1つに○)

- | | | |
|---------|---------|----------|
| 1. 市内 | | |
| 2. 市外 (| 都・道・府・県 | 区・市・町・村) |

→【問 10-3 で「2. 市外」を選択した方にうかがいます。】

問 10-3-1 洲本市に引っ越した理由は何ですか。(1つに○)

- | | |
|--------------------|-------------|
| 1. 配偶者が洲本市に住んでいたから | 2. 転勤・就業のため |
| 3. その他 () | |

問 11 これから結婚する人のために、市が重点的に取り組むべき支援策は何だと思えますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1. 安定した雇用の支援 | 2. 若い夫婦への住まいの支援 |
| 3. 結婚祝い金などの経済的支援 | 4. 婚活イベントなどによる出会いの場の提供 |
| 5. 結婚相談窓口 (仲立ち) | 6. 若い世代への結婚に関する講習会 |
| 7. 結婚を推奨するようなPR | 8. 行政が取り組む必要はない |
| 9. その他 () | |

子育てについてうかがいます。

問 12 あなたは、現在、お子さんが何人いますか。(1つに○)

- | | | |
|-------|-------|---------|
| 1. 0人 | 2. 1人 | 3. 2人 |
| 4. 3人 | 5. 4人 | 6. 5人以上 |

問 13 現在いるお子さんの人数も含めて、今後、お子さんを何人持つご予定ですか。(1つに○)

- | | | |
|-----------------|-------|---------|
| 1. 0人 (特に予定はない) | 2. 1人 | 3. 2人 |
| 4. 3人 | 5. 4人 | 6. 5人以上 |

問 14 「問 13」でお子さんの人数についてお聞きしましたが、あなたが理想としてお考えのお子さんの数は何人ですか。(1つに○)

- | | | |
|-------|-------|---------|
| 1. 0人 | 2. 1人 | 3. 2人 |
| 4. 3人 | 5. 4人 | 6. 5人以上 |

問 15 「問 13」でお聞きしたお子さんの人数を、「問 14」でお聞きしたあなたが理想としてお考えのお子さんの人数にするために問題となりそうなこと (なっていること) は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 子育てや教育にお金がかかりすぎる | 2. 家が狭い |
| 3. 自分の仕事に差し支える | 4. 子育てを手助けしてくれる人がいない |
| 5. 配偶者の家業・育児への協力が見込めない | 6. 子どもを預ける施設が整っていない |
| 7. 妊娠・出産・子育てに関する情報が不足 | 8. 育児・出産の心理的・肉体的な負担 |
| 9. 年齢的な問題 | 10. ほしいけれどできない |
| 11. 特に問題はない | 12. わからない |
| 13. その他 (|) |

問 16 今後、出産・育児に関するサービスとして、洲本市が重点的に力を入れるべきだと思うのは次のうち、どれですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------------|---|
| 1. 妊婦の健康診査に対する支援 | |
| 2. 妊婦の産前産後の相談 | |
| 3. 乳幼児の保健指導・健康管理に対する支援 | |
| 4. 幼稚園・保育所などの施設の拡充 | |
| 5. 子どもを預かるサービス時間の延長 | |
| 6. 子どもを預かる施設の教育・保育の質の向上 | |
| 7. 子育てに関する施設・サービスなどの情報提供の充実 | |
| 8. 各種の助成をはじめとする金銭的なサポートや現物給付 | |
| 9. 子育てに関する母子の保健・医療体制の充実 | |
| 10. 子育てに関するさまざまな講座、イベント、講演会の実施 | |
| 11. その他 (|) |
| 12. 行政が行うサービスをこれ以上増やす必要はない | |

働くことについてうかがいます。

問 17 あなたは、現在、どこで働いていますか（就労形態は問わない）。（1つに○）

1. 働いていない
2. 市内
3. 市外

→【問 17 で「1. 働いていない」を選択した方にうかがいます。】

問 17-1 働いていない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|------------|---------------------|
| 1. 働きたくない | 2. 仕事を探しているが、みつからない |
| 3. 病気療養中 | 4. 親や子の介護または子育て中 |
| 5. 学生 | 6. (退職して) 年金で生活している |
| 7. その他 () | |

-->【問 17 で「2. 市内」、または「3. 市外」を選択した方にうかがいます。】

問 17-2 現在の仕事に満足していますか。（1つに○）

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 満足している | 2. まあまあ満足している |
| 3. あまり満足していない | 4. 不満である |

問 17-3 現在、働いている環境で改善してほしい点は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 給与 | 2. 休みの日数（有給休暇の取得など） |
| 3. 労働時間 | 4. 通勤時間 |
| 5. 職場の人間関係 | 6. 仕事の内容・やりがい |
| 7. 福利・厚生 | 8. 介護・育児休暇制度 |
| 9. 法令順守（パワハラ・セクハラなど） | 10. その他 () |

→【問 17 で「3. 市外」を選択した方にうかがいます。】

問 17-4 どこで働いていますか。（あてはまるもの1つに○）

- | | |
|----------------------------------|--------|
| 1. 南あわじ市 | 2. 淡路市 |
| 3. 神戸市 | 4. 明石市 |
| 5. その他 兵庫県内 () 市・町) | |
| 6. その他 兵庫県外 () 都・道・府・県 区・市・町・村) | |

問 17-5 現在、洲本市内にお住まいになっている理由は何ですか。

（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-----------------------|------------------------------|
| 1. 現在の職場に働く前から住んでいたから | 2. 家族が市内に住んでいるため、通勤・通学しているから |
| 3. 人間関係がよいから（友達がいるなど） | 4. 職場に近いから（交通の便がよいから） |
| 5. 生活環境がよいから | 6. 医療・福祉のサービスがよいから |
| 7. 家賃・生活費が安いから | |
| 8. その他 () | |

問 18 あなたは、今後、新たに職に就く、もしくは転職の希望はありますか。(1つに○)

1. 就職・転職の希望はない
2. 市内で就職・転職したい
3. 市外で就職・転職したい

→【問 18 で「2. 市内で就職・転職したい」、または「3. 市外で就職・転職したい」を選択した方にうかがいます。】

問 18-1 次のうち、どの分野の仕事を希望しますか。(1つに○)

- | | |
|---------------|-----------------------|
| 1. 農林業・畜産業 | 2. 水産業 |
| 3. 工業 | 4. 商業・サービス業 |
| 5. 行政関係（役所など） | 6. 自由業（芸能・スポーツ・弁護士など） |
| 7. その他（ | ） |

問 19 地域経済の活性化を行う際に、どのような取組に力を入れるべきと考えますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--|---|
| 1. 企業誘致、起業しやすい環境の整備などによる新規産業の創出 | |
| 2. 生産性向上や商圈拡大の支援などによる商工業の振興 | |
| 3. 6次産業化（※）・ブランド化などによる農林水産業の振興 | |
| 4. 女性管理職の登用拡大や職域拡大など女性の活躍促進 | |
| 5. 子育てと仕事が両立できる環境づくり | |
| 6. 自然など本市の素材を生かした観光産業の振興 | |
| 7. 学校、企業などと連携したキャリア教育の推進など若者の人材育成 | |
| 8. 産業振興につながる道路などの整備及びインターネット環境などの社会基盤の整備 | |
| 9. 老人が暮らしやすい環境の充実 | |
| 10. その他（ | ） |

※ 6次産業化・・・農林水産業（第1次産業）、食品加工（第2次産業）、流通販売・情報サービス（第3次産業）を一体化し、新たな食農ビジネスを推進する取組

今後の進学や就職についてうかがいます。

問 20、21 については、学生の方がご回答ください。
学生以外の方は、9 ページの問 22 へお進みください。

問 20 あなたは、現在、どこに通学していますか（学校の種類は問わない）。（1つに○）

- | | | |
|--------------|----------|----------|
| 1. 市内 | 2. 南あわじ市 | 3. 淡路市 |
| 4. 神戸市 | 5. 明石市 | |
| 6. その他 兵庫県内（ | 市・町） | |
| 7. その他 兵庫県外（ | 都・道・府・県 | 区・市・町・村） |

問 21 あなたは、今後進学や就職するときに、洲本市に残りますか、それとも洲本市を出ていかれますか。（1つに○）

- | |
|---------------------|
| 1. 市内に住みながら進学・就職したい |
| 2. 市を出て進学・就職したい |
| 3. わからない |

→【問 21 で「1. 市内に住みながら進学・就職したい」を選択した方にうかがいます。】

問 21-1 あなたが（将来的に）市内に住みながら進学・就職したい理由は何ですか。
（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 通学・通勤が可能な学校・職場があるから | 2. 家業を継ぐため |
| 3. 家庭の事情のため | 4. 自然環境が豊かで暮らしやすいまちだから |
| 5. 家族や友人と離れたくないから | 6. 都会の生活に魅力を感じないから |
| 7. 特に理由はない | 8. その他（ |

→【問 21 で「2. 市を出て進学・就職したい」を選択した方にうかがいます。】

問 21-2 あなたは（将来的に）どこへ出る予定（出たい）ですか。（1つに○）

- | | | |
|--------------|---------|----------|
| 1. 南あわじ市 | 2. 淡路市 | |
| 3. 神戸市 | 4. 明石市 | |
| 5. その他 兵庫県内（ | 市・町） | |
| 6. その他 兵庫県外（ | 都・道・府・県 | 区・市・町・村） |

問 21-3 あなたが（将来的に）洲本市を出る（出たい）理由は何ですか。
（あてはまるものすべてに○）

- | |
|------------------------------|
| 1. 洲本市には、就職の受け入れ先が少ないから |
| 2. 家族や故郷のしがらみやわずらわしさから離れたいから |
| 3. 都会での生活にあこがれているから |
| 4. 洲本市には、将来の結婚が難しくなると思うから |
| 5. 自立したいから |
| 6. 特に理由はない |
| 7. その他（ |

問 21-4 あなたは（将来的に）洲本市を出て進学・就職後、洲本市に戻って暮らしたいと思
いますか。（1つに○）

1. 卒業後、すぐに戻る（戻りたい）
2. 洲本市以外で数年間働き、働く場があればすぐに戻る（戻りたい）
3. いったんは洲本市以外で働き、一定の時期（例えば定年）がきたら戻る（戻りたい）
4. 戻りたいが、働く場が限られるので戻らない（戻らない予定）
5. 戻りたいが、生活する場としては不便なので戻らない（戻らない予定）
6. 戻る気はまったくない
7. わからない

すべての方がご回答ください。

洲本市総合戦略についておうかがいします

問 22 洲本市では、総合戦略の中で次のような基本目標を設定しています。この基本目標の中で、あな
たが最も重要だと思うものは何ですか。（1つに○）

なお、以下の4つの基本目標は現在の総合戦略における基本目標であり、今年度中に策定する
新たな総合戦略の基本目標となることを決定づけるものではありません。

1. 女性や若者が活躍する洲本ならではの「しごと」のステージを創る 【しごと・雇用】
2. 観光や暮らしの魅力を広く発信し、来訪者、移住・定住者を洲本へ呼び込む【移住・定住】
3. 洲本で出会い、ともに歩み、未来をつなぐ「ひと」の夢をかなえる 【出産・子育て】
4. 魅力的でやすらぎのある「わがまち洲本」を創り守る 【コミュニティ・生活環境】

問 23 あなたが出来るまちづくりへの参加（参画）には、どのようなものがありますか。（ご自由
に記入してください）

